

第2回 地方自治未来リーダーカレッジ

首長選向け 少人数 実践講座

令和5年7月

西川町長 菅野大志

LINEで、西川町と外
をつないています！



▲facebook



▲LINE



1. 自身の選挙戦の経験談

(1) 経歴

菅野大志 44歳・西川町生まれ

- 1997年 寒河江高校卒業
- 2001年 早稲田大学卒業
- 2001年 **財務省**東北財務局入局
- 2003年 **財務省青森財務事務所**
- 2006年 **金融庁**監督局銀行第一課
- 2008年 **財務省**東北財務財務局金融監督第一課
- 2018年 **金融庁**総合政策局地域課題解決支援チーム
- 2019年 **金融庁**監督局総務課地域課題解決支援室
- 2020年 **環境省**と金融庁の連携チーム
- 2021年 **内閣官房**まちひとしごと創生本部事務局
- **2021年 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局**
- 2022年 山形県西川町 町長

■趣味：マラソン、ラジオ
競馬、麻雀
読書（司馬遼太郎）

■特技：カヌー
事業計画作成

■娯楽：サウナの水風呂

■好きな歌：西野カナ

■尊敬：遠藤俊英元金融庁長官

■座右の銘：単純明快

国家公務員 珍体験 ①

国家公務員で、初めてクラウドファンディング プロジェクトリーダー

未来をつくるSDGsマガジン

ソトコト



国家公務員 珍体験 プロボノ ②

2019年 金融庁 国家公務員で複業契約！ 地方創生の老舗:ETIC

5) 令和2年10月「ふくしま外部人材活用協議会※」発足

※中小企業庁 令和2年度「地域中小企業人材確保支援等事業」

目的

- 外部人材確保に向けた支援機関のネットワーク形成
- 外部人材活用に関する担い手の育成

(事業主体)



(企画・運営)



- 参加：31機関
県内金融機関、人材仲介会社等
- オブザーバー：7機関
福島学院大、復興庁、東北財務局等



(発足式開催の様子)

- 金融機関職員による実企業への副業人材活用への提案
- 人材活用の一連の流れを体験したことにより、金融機関が県事業と連携して実践へ。



国家公務員 珍体験 部活が仕事に！ ③

2022年 部活(地域課題解決支援チーム)が 金融庁の室に格上げ

Bloomberg

長官にも直言、若手育成の取り組みで見た光—金融庁改革待ったなし

f t > Q 検索

長官にも直言、若手育成の取り組み で見た光—金融庁改革待ったなし

萩原ゆき、浦中大我

2020年7月17日 8:19 JST

- 「政策オープンラボ」は「若手が物を言えず萎縮している」現状打破
- 有志で立ち上げた「ちいきん会」からは地域課題解決支援室が誕生

「素晴らしい」、「本当にすごい」。金融庁で6月に開かれた職員による研究報告会で、遠藤俊英長官は幾度もつぶやいた。若手による政策立案を促すこのプログラムは、参加者が業務の2割程度まで研究に時間を割くことを可能にした。

このプログラムは、金融庁改革を象徴するものだ。遠藤氏は2018年7月、スルガ銀行の不正融資問題を巡る監督方針の是非が問われる中、長官に就任。当初から「深度ある対話」という言葉を多用し、定期的な検査で締め付けるより、金融機関との対話を通じてリスクや必要な対応策を探ることの重要性を強調した。

本業



- 2001年 財務省
- 2006年 金融庁
- 2008年 財務省
- 2018年 金融庁
- 2019年 金融庁
- 2020年 環境省 兼 金融庁
- 2021年 内閣府 地方創生推進室
- 2021年 内閣官房 デジタル田園事務局
- 2022年 山形県西川町 町長

西川町総合開発(株)社長、観光協会副会長等

パラレルワーク



ちいきん会

ETIC

北上市

地域商社

Work Design Lab

①公務員(管理者、実務者)、②政治家、③民間(経営者、プレイヤー、イノベーター)

ちいきん会

■ 2019年 金融庁 (一社)ちいきん会創設 (現在、理事)

- 金融機関と自治体、更に連携できる (互いに組織・人を理解→事業の作りこみ)



2019年11月9日(土) 福島県福島市にて初の地方開催

ちいきん会

- ・公務員と金融機関職員 (官 × 金) のミートアップイベント
- ・肩書を外して交流する場
- ・金融庁「地域課題解決支援チーム」

ちいきん会

一生で出会う人は、2,000人とされています。

ひたすら対話

1,700人

年 **300** 件の相談



ちいきん会 >

🔒 プライベートグループ・メンバー2,724人



🛡️ 管理

👤 招待

チャット

リール

情報

ルーム

注目

注目のコンテンツ ⓘ

追加 ▾

• 新規6件

1. 自身の選挙戦の経験談

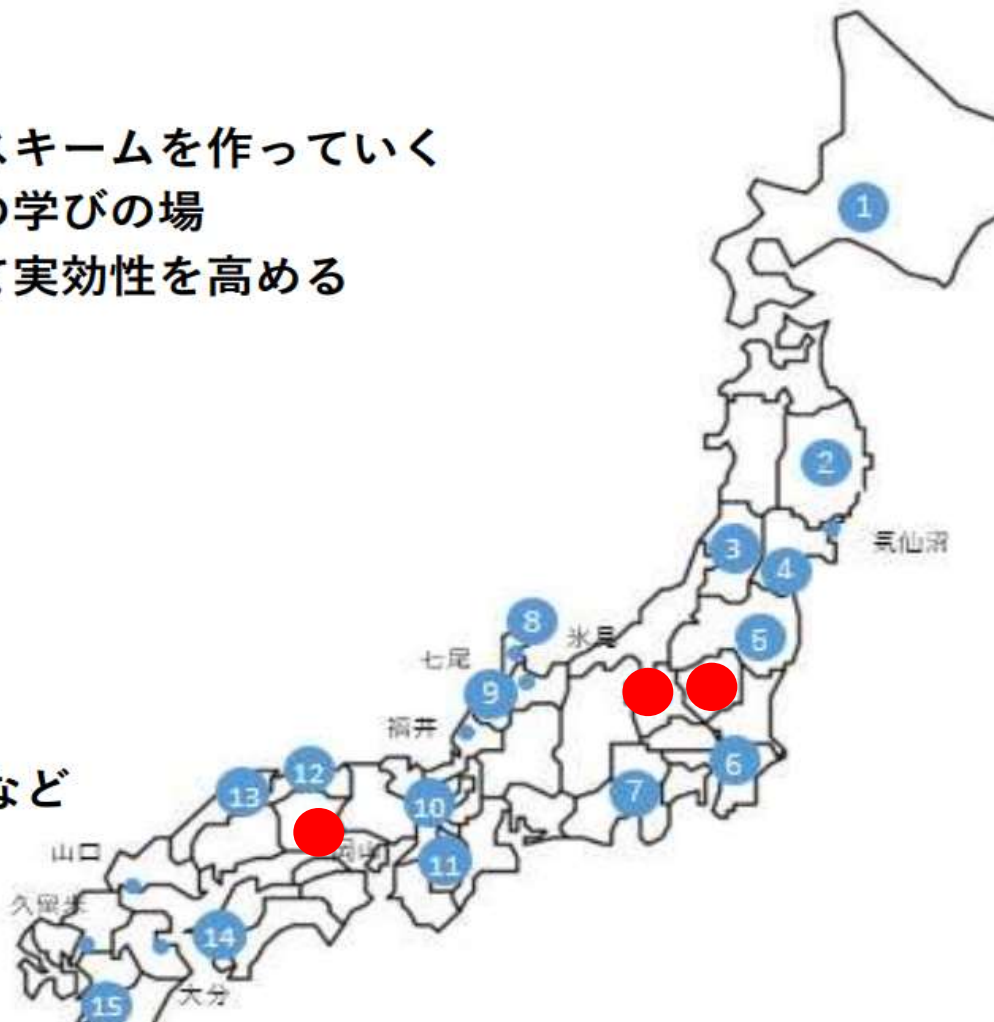
(1) 経歴

(2) ダイアログの種類

- ①自治体の課題を有志で解決するスキームを作っていく
- ②ネットワークを形成し、地域の学びの場
- ③自治体の施策を金融機能を通じて実効性を高める

(3) 議論している内容

- 関係人口の増加支援策
- 制度融資手続きの電子化
- 起業創業支援
- 地域ブランドによる価値創造
- 環境資源を活かしたまちおこし
- 地域通貨の導入に向けた事業 など



(2) 町長選出馬のきっかけ・動機

①西川町の政治的状況

- 人口 4900人 1800世帯
- 高齢化 47%
- 山形県 県知事:革新、参議院1人区ともに革新
- 20年以上、保守系無所属の勝利ない
- 投票率は、県内で1番 今回87%、前回84%

②選挙戦

- 相手:選挙のプロ
県知事の元後援会長、町長選選挙対策本部幹事長
- 地区:12地区のうち、8地区の推薦
- 相手:行政経験は、県庁で15年 自治労→連合山形→労金役員

(2) 町長選出馬のきっかけ・動機

①西川町の状況

- ・競争を前提としている地方創生に対応していない＝町が挑戦しない！
- ・職員の力はあるが、幹部のリスク許容度低い＝職員が挑戦できない！
- ・活性化の限界事例到達まで、あと8年＝とりかえしがつかない状況！
 - 高齢化45%以上、人口4000人以下

②菅野の状況

- ▲家族の同意なし（特に地元の父(元公務員)・母は反対)
- 定年後には、地域のために力を尽くしたい！
- いろいろな地域を活性化に尽力したが、「故郷」に尽くしていない。。。
- 本業・パラレルワーカーとしてのつながりを発揮する時！
- デジタル田園都市国家構想事務局で、最新の情報・事例・ノウハウ取得

(2) 町長選出馬のきっかけ・動機

故郷が、取返しのつかなくなる前に

情報・ノウハウ・ネットワークは60歳になってからでは劣化する

今のこそ、最新の知識と自分がためた信頼貯金を町政に活用するとき

西川町の興亡＝自分事に

(3) 町長選の体験談

② 候補予定者期間 3月4日～3月14日 公約をつくる

「すっだい」を実現する町に!

「すっだい」この実現は、生きがいとなるだけでなく、人と人をつなぎ合わせ、「稼ぐ町」への基礎づくりとなります

1 町民のみなさまとのまちづくり

- 月2回以上、みなさまとお話をする場をつくります
- 町民と町外西川ファンのお節介担当課を役場につくります
- 企業版ふるさと納税で5,000万円を確保。目標額を超えた分は、町内の除雪対策に活用

2 稼ぐ・稼ぎ続けるまちづくり

- 地域活動の維持のために、予算の確保や集落地域支援員を13名配置する等、人・資金の面でサポート
- 産業交流拠点を整備し、年5社以上町外企業のサテライトオフィス(支社)を誘致
- 耕作放棄地の集約と労働力の確保を目的として、新規就農者を育てる取組みを企画
- 周遊型観光コンテンツを制作。毎年1億円の経済効果を獲得

3 安心・安全なまちづくり

- 町立病院を存続させ、地域医療体制の維持を西村山郡全体で実現
- デマンドタクシーの充実、町営バスの小型化と増便
- 要介護3認定者専用の宅老所を誘致
- 除雪機費用の補助や除雪スタッフの確保

4 子育て世代にやさしいまちづくり

- 子育て世代の女性を政策アドバイザーに任命
- 西川に戻る、定住している学生の奨学金の返済を実質免除
- 高校入学時に、10万円の一時金を支給
- 国の補助金を利用し、小・中学校の給食費の無料化
- 子育て世代を主な対象とした遊び場付きカフェを設置



かんの大志だいし

プロフィール

1978年生
山形県西川町吉川
井戸端出身 在住
43歳

1994年3月 西川町立(旧)西川東部中学校 卒業
1997年3月 山形県立寒河江高校 卒業
2001年3月 早稲田大学人間科学部 卒業
2001年4月 財務省東北財務局 入局
2018年 金融庁地域課題解決支援チーム リーダー
2021年 内閣府地方創生推進事務局
内閣官房デジタル田園国家構想実現会議事務局

私も応援しています!

内閣府特命担当大臣 野田 聖子
内閣府特命担当大臣 若宮 健嗣
衆議院議員 鈴木 憲和